神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

Grammaticalization in Vietnamese motion verbs : the case of COME

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2006-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 村上, 雄太郎(レー・バン・クー), Murakami, Yutaro.(LE Van Cu) メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/1112

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

方向を示す移動動詞の文法化

――ベトナム語の「来る」動詞の場合――

村上　雄太郎（レー・バン・クー）

1. はじめに

ここで言う「方向を示す移動動詞」とは，以下のような例に示される動詞のことである。

(1) Nó *ra* vườn.
彼　出る　庭
（彼は庭に出た。）

(2) Nó *vào* nhà.
入る　家
（彼は家に入った。）

(3) No *lên* tầng ba.
上る　階　三
（彼は３階に上った。）

(4) Nó *xuống* tầng hai.
下りる　二
（彼は２階に下りた。）

(5) Nó *đi* Pháp.
行く　フランス
（彼はフランスに行った。）

(6) *Lại* đây với anh.
来る　ここ　と　私（兄）
（ここへ来なさい。）

(7) Xe-điện *đến* Ueno lúc hai-giờ.
電車　着く 上野　に　2時
（電車は，2時に上野に到着した。）

(8) Nó *sang* bờ bên-kia.
渡る　岸　向こう
（彼は向こう岸に渡った。）

(9) Nó *qua* cầu.
渡る　橋
（彼は橋を渡った。）

(10) Nó *về* nhà.
帰る　家
（彼は家に帰った。）

これらの動詞は，単独でも使えるし，他の移動動詞の後に付いて，その移動の方向を示す成分として使うこともできる。例えば，

(11) Nó chạy *ra*.
走る　出る
（彼は駆け出た。）

(12) Nó chạy *vào*.
入る
（彼は駆け込んだ。）

⒀ Nó hấp-tấp chạy *lại.* (GH)
あたふたと 駆ける
(彼はあたふたと駆け寄ってきた。)(花)

このうち，ra（出る），đi（行く），lên（上がる），lại（来る）は，形容詞の後に置かれ，アスペクト形式として働く場合もある。例えば，

⒁ Cô-ta ngày-càng đẹp *ra.*[1]
彼女 日増しに きれいだ
(彼女は，日増しにきれいになってきている。)

⒂ Dạo-này nó gầy *đi* nhiều.
このごろ 彼 痩せる たくさん
(このごろ，彼は随分痩せてしまった。)

⒃ Những căn nhà lùi-xa, bé dần *lại.*
(複) (類) 家 遠ざかる 小さい だんだん
(人家などが遠くに去り，だんだん小さくなった。)

特に，lại（来る）は，他の動詞や形容詞の後ろにだけでなく，他の動詞の前にも使われる。また，節と節との接続形式を形成するのにも使われるし，感情・態度の表出形式としても使われる。例えば，⒃のような用法にある lại は，事物の変化過程の ＜圧縮／縮小＞ という方向を表し，また，⒄のような用法では，「再び」を表す。さらに，⒅では，＜完了＞ を表す đã と組み合わさって，「(道に迷っ) た上に，(雨に降られ) た」という追加の意味を表す，節と節との接続形式として働く。⒆や⒇では，物事の生起が話し手にとって予想外だということを表す感情・態度の表出形式として働く。

1 例文中，ベトナム語の単語をイタリックにするのは強調するためである。また，日本語のグロスとベトナム語のローマ字の区切りとの対応が正確に分かりやすくなるように，一つのグロスが二つ以上の区切り，つまり二つ以上の音節に対応する場合，音節と音節との間にハイフンを使うことにする。例えば，cô-ta（彼女）のように。ベトナム語の正書法では，こういう場合には，ハイフンが使われないのが普通である。

(17) Nó *lại* đọc thư.
(彼はまた手紙を読んだ)

(18) *Đã* lạc đường nó *lại* bị trời mưa.
迷う 道 彼 (被) 天 雨
(彼は道に迷った上，雨にまで降られた。)

(19) *Không-ngờ nó lại* đến.
まさか 彼 来る
(彼が来るとは思いもよらなかった。)

(20) _Nó rất giỏi toán.
彼 とても 上手だ 数学
(彼は数学がよくできる。)

_Con của giáo-sư toán *mà-lại.*
子供 (所有) 教員
(当然だ。数学担当先生の子供だもの！)

本稿では，lại の意味的な特性を見据えつつ，その，意味や機能の拡張による文法化のプロセスを考察する。具体的には，2節では，アスペクト形式への機能拡張を，また，3節では，接続形式への機能拡張を，さらに，4節では，感情・態度の表出形式への機能拡張を考察する。最後に，6節では，まとめと今後の展望を述べる。

2. lại のアスペクト形式への機能拡張

先ず，単独で使われる場合，基本的には，動詞 lại は，話者，または話者側の居る所や，話者の範囲内にある近い所へ移動する，という「来る」に相当する意味がある。

すなわち，話者から遠ざかる方向に移動する「行く」とは正反対である。

しかし，lại は「来る」の他に，「戻る」という意味もある。例えば，*Viet-*

namese-English Dictionary (Đặng Chấn Liêu & Lê Khả Kế eds. 1987) では，lại（動詞）という見出しは，'1. Come (from a short distance) Có bạn học *lại* chơi đấy con ạ.: A school-mate has come to see you, dear. 2. Come back, return. Tôi xin phép *lại* nhà.: I beg leave to return home.' とある。

ここで，2. の意味は，1. の意味が拡張したものだと考えられる。というのは，＜話者側の，発話現在，居る所への移動＞＝＜話者側の出発点（住む所など）への移動＞ という捉え方が「来る」から「戻る」への拡張を動機づけているのである。また，この ＜話者側の出発点への移動＞ が ＜ある出発点への移動や還元＞ へと一般化した時に，(21)(22)(23)のような用法があり，さらに，＜ある元来の状態への回帰＞ へと抽象化した時には，(24)のような用法がある。

(21) Nó đã gửi *lại* cuốn sách ấy cho tôi.
彼 (完了) 送る (類) 本 その へ 私
(彼はその本を返送してくれた。)

(22) Nó bị bạn đánh, nhưng không đánh *lại*.
被る 友人 殴る しかし (否定)
(彼は友達に殴られたが，殴り返さなかった。)

(23) Nó đọc *lại* lá thư ấy rồi.
彼 読む (類) 手紙 その (完了)
(彼はその手紙を読み返した。)［もう一回］

(24) Mỗi-lúc cười trông anh như trẻ hẳn *lại*.
度に 笑う 見える 彼 ように 若い すっかり
(笑うと若々しくなる。)

一方，「縮む」や「詰まる」など，縮小を表す動詞の後ろに使われる場合，lại は，「求心的」という事物の移動方向を示すと同時に，活動の結果も明らか

にするという役割を果たす。[2] この「求心的な移動方向」は，形容詞の後ろに使われる次のような例にも認められる。

(25)=(16) Những căn nhà lùi-xa, bé dần *lại.*
（複）（類）家 遠ざかる 小さい だんだん
（人家などが遠くに去り，だんだん小さくなった。）

また，Cao Xuân Hạo（2003: 51）に従って，ベトナム語の述語を，「動的かどうか」および「意志的かどうか」というその意味特性によって，「動作」(hành động）を表す述語，「出来事」(sự cố）を表す述語，「姿勢」(tư thế）を表す述語と「状態」(trạng thái）を表す述語と分類すると，「状態」を表す述語に後続する lại は，(24)(25)のように，「元来の状態への還元」や「求心的な方向への変化」を表すアスペクト形式として働くということができる。

そして，「姿勢」を表す述語に後続する lại は，(26)～(28)のように，先へ進んで行くと予定されたある動作が打ち切られるという「停滞・終結」を表すアスペクト形式として働く。(26)，(27)と(28)では，この「先へ進んで行くと予定された」動作は，それぞれ，例えば，「歩く」と「飛行機で乗り継ぐ」と「家へ帰る」のような動作だと言える。

Panfilov（1979: 20-23）は，(25)にあるような，形容詞の後に付く lại は「属性の出現」を示すものだとし，dừng（立ち止まる）のような有限性のある(telic）動詞の後に付く lại は，「動詞の有限性の純粋形式的な表現」(biểu hiện thuần túy hình thức tính hữu giới của động từ）だと分析している。

(26) Nó dừng *lại.*
彼 止まる
（彼は立ち止まった。）

2 Trần Thị Nhàn（2005: 461）を参照されたい。

(27) Nó ngủ *lại* ở sân bay.
寝る に 空港
(彼は空港に寝泊りした。)

(28) Về vội làm-gì ! Ngồi *lại,* nói-chuyện một-lát-nữa đã.
帰る 急ぐ ～ことはない 座る 話す もう少し とりあえず
(早く帰ることなんてないよ！座ってもう少し話していきなさいよ。)

ここで，注目すべきは，同じく，“動作を表す述語＋ lại” という統語的な環境に現れても，この述語の意味特性によって，lại の機能も変わってくるということである。

具体的には，(21)や(22)の中の述語動詞が「ある空間的な移動を引き起こす動作や，ある作用を対象に向けて及ぼす動作」を表すのに対し，(23)の中の述語動詞は，これらの空間的・物理的な移動が含まれない動作を表すものである。この「空間的・物理的な移動が含まれない動作を表す」述語動詞に後続する lại は，反復を表すというアスペクト形式として働くのである。

要するに，空間的・物理的な移動を表さない述語，つまり，非移動性の動詞や形容詞に後続する環境にあることが，lại のアスペクト形式への転化を動機づけているのである。

反復を表すアスペクト形式としては，特に，(29)～(31)のような “V＋đi＋V＋lại” というペアによる表現が注目に値する。“V＋ra（出る）＋V＋vào（入る)” や “V＋lên（上がる）＋V＋xuống（降りる)” というペアによる表現でも，「反復」の意味が示されるが，“V＋đi＋V＋lại” の方が，反復の意味がより強いように感じられる。これは，“ra / vào” や “lên / xuống” と比べて，“V＋đi＋V＋lại” の方が，方向性の意味が希薄になり，かなり抽象化していることで説明できると思われる。

(29) Nó đọc *đi* đọc *lại* lá thư ấy.
彼 読む (類) 手紙 その
(彼は，繰り返しその手紙を読んだ。) [何回も]

(30) Anh lật *đi* lật *lại* chiếc máy trên tay.
彼 覆す (類) 機械 上 手
(彼はその機械を手のひらで表を見たり裏返してみたりした。)

(31) Tôi nghiên-cứu *đi* nghiên cứu *lại* hồ-sơ của gã.
私 研究する 書類 の 奴
(私は，彼の経歴を一切繰り返し研究した。)

また，同じ反復を表すものであるが，動詞に後続する lại，つまり(23)のようにアスペクト形式として働く lại がある一方，それに先行する lại もある。先行する lại は，ここで言うアスペクト形式ではなく，一種のモーダル動詞として働くものだと考えられる。

先行する場合，その述語によって表される事態が少なくとも，一回は，前に起こったことがあることを表し，後続する場合は，やり損なったことをもう一度行うことを表す (Văn Tân, Nguyễn Văn Đạm 1977: 452 や，Nguyễn Đình Hoà 1997: 147-149, Trần Thị Nhàn 2005: 462)。

(32)=(17) Nó *lại* đọc thư.
彼 読む 手紙
(彼はまた手紙を読んだ。)

(33)=(23) Nó đọc *lại* lá thư ấy rồi.
彼 読む (類) 手紙 その (完了)
(彼はその手紙を読み返した。) [もう一回]

多くの場合，“V＋lại＋N” は，日本語の “V-し直す” に対応すると言える

が，この対応関係については，別稿に譲る。

次に，lại の接続形式への機能拡張を見てみよう。

3. lại の接続形式への機能拡張

この場合，lại は，「～した上に，～する」という追加の意味を表す“đã ...lại...”という接続形式の一端を担うものである。この接続形式は，単文では，完了（已成）を表すモーダル動詞として働く đã に呼応して，反復を表すモーダル動詞 lại が使われることによるものである。例えば，(36)は，(34)に(35)が重なって出来た表現である。

(34) Nó *đã* lạc đường.
彼 （完了）迷う道
（彼は道に迷った。）

(35) Nó *lại* bị trời mưa.
（反復） 被る 天 雨（が降る）
（彼は，また雨に降られた。）

(36)＝(18) *Đã* lạc đường nó *lại* bị trời mưa.
迷う 道 彼 （被） 天 雨（が降る）
（彼は道に迷った上，雨にまで降られた。）

因果関係などと違って，“đã ...lại...”によるこの接続関係は，「物事は通常以上に，良いまたは悪い」という話者の評価や表現意図が含まれていることから，一種の「ムード定型」を成すものだと言える。

次に，lại の感情・態度の表出形式への機能拡張をみてみよう。

4. lại の感情・態度の表出形式への機能拡張

この場合，*lại* を使うことによって「思いもよらない」や「意外だ」という

意味合いが含まれることになる。例えば，(37)では，「アメリカに留学している」のなら，「上手になったのは，米語だ」というのは，話者の予想するところである。従って，「上手になったのは中国語だった」ということを聞いた時に，話者にとっては，意外な出来事だということになる。

lại のこのような機能拡張を動機づけるのは，＜先へ進んで行かなく，反復する＞＝＜話者の思うように事が運ばない＞ という捉え方だといえる。

(37) Nó du-học ở Mỹ, nhưng không giỏi tiếng-Mỹ *mà lại* giỏi tiếng-Hoa.
彼 留学する に アメリカ しかし (否定) 上手だ 米語 (逆接) 華語
(彼はアメリカに留学しているのに，上手になったのは，米語ではなく，中国語だった。)

(38) a. *Không-ngờ* nó *lại* đến.
まさか 彼 来る
(彼が来るとは思いもよらなかった。)

b. *Chẳng có lẽ* anh-Minh *lại* đốn đến-thế. (GH)
(否定) 有る 訳 ミン君 駄目になる そんなに
(ミン君がそんなに駄目になるはずがない。) (花)

c. *Sao* em đương đọc dở *lại* ngưng thế ? (GH)
なぜ 君 (進行) 読む ー途中で 止める そのように
(どうして読んでいる途中でやめてしまうの？) (花)

(39) A: Nó rất giỏi toán.
彼 とても 上手だ 数学
(彼は数学がよくできる。)

B: Con của giáo-sư toán *mà-lại.*
子 の 教員
(当然だ。数学担当教員の子供だもの！)

このように，(37)～(39)の lại は，皆「話者の予想に反する」を表すものである

が，それぞれニュアンスが違うようである。(38)における話者の予想というのは「彼は来ないだろう」や「そこまではミン君は駄目になるはずがないだろう」などということである。この場合，lại は không ngờ（思いもよらない）や sao（なぜ）や chẳng（có）lẽ（～するわけがない）のような語句と共起するのが普通である。

一方(39)では，話者は，「彼が数学が上手なのは，当然であり，取り上げて言う人は居ないはずだ」と予想したので，この予想に反するような発言をした相手に対して，「当然だよ」を意味する mà lại を終助詞として対応するものである。

(39)のBの返事は，以下のような発話が短絡したものだと考えられる。

(40) B: Nó là con của giáo-sư toán *mà* sao anh *lại* còn nói như-thế?
彼 だ 子 の 教員 数学 なぜ 君 また 言う そのように
（彼は数学担当教員の子供なんだから，改めて言うまでもないだろう。）

意味的には，(37)(38a, b)で，予想外の事柄に対する話者の驚き，いわば「対事的な」態度を表すのに対し，(38c)(39)では，「あなたがそのように行動している，あるいは，そのような発言や考え方をしているとは意外だった」といった驚き，いわば，「対人的な」態度を表すといえる。

統語・形態的には，(39)のような場合には，lại は，一つの単語として働く mà lại の一部になり，音声的にも，lị と縮小されてしまうことがある。具体的には，/lạy/ が /lị/ に縮小され，母音 /a/ と半母音 /y/ との組み合わせ /ay/ が母音 /i/ に狭められるのである。文法化がかなり進んだ証拠だと言える。

(41) Tổng-thống Bush mê Barney đến-mức ông gọi chú chó ba tuổi này là
大統領 夢中だ ほど 彼 呼ぶ(個体名詞)犬3 歳 この と
"cậu con-trai mà tôi ao-ước" (chả-là ông có hai cô con-gái sinh-đôi *mà-lị*!)
(個体名詞)息子 (関係詞) 私 望む なぜなら 彼 ある2 (個体名詞) 娘 双子 んだもの
（ブッシュ大統領は，私の望んでいた息子だと呼ぶほど，バーニーという3歳に

なるこの犬に夢中だ。(彼には双子の娘しかいないんだもの！))
(http://www.tuoitre.com.vn/Tianyon/Index.aspx?ArticleID=120434&ChannelID=16)

なお，gửi lại（返送する）や đánh lại（殴り返す）の中の lại が「当初の方向とは逆だ」という事を表すとすれば(37)～(39)の中の lại は，主観化して「話者の予想した方向とは逆だ」という事を表すと言える。この主観化の過程にきっかけを与えるのは「反復」の用法だと考えられる。特に，次のような表現には，＜反復＞と＜予想に反する＞の２つの意義素が共存するものだと解釈される。

(42) Nó viết rồi *lại* xoá, xoá rồi *lại* viết.
書く それから 消す
(彼は書いては消し，また消しては書いた。)

(37)→(38)→(39)の順に，主観化の度合いが強くなっていくと考えられる。

Traugott（1989など）によると，主観化とは，簡単に言えば，命題的意味から，テキストあるいは，感情表出的意味への変化である。

Propositional >((textual)>(expressive))

また，Traugott & Dasher (2002: 84) によると，文法化には次のような特徴があるという。1)特定的な構文 (a specific construction); 2)意味の希薄化 (bleaching); 3)語用論的強化 (pragmatic strengthening); 4)再解釈 (reanalysis); 5)構文の固定化 (fixing of the construction); 6)音韻的弱化 (phonological attrition)。

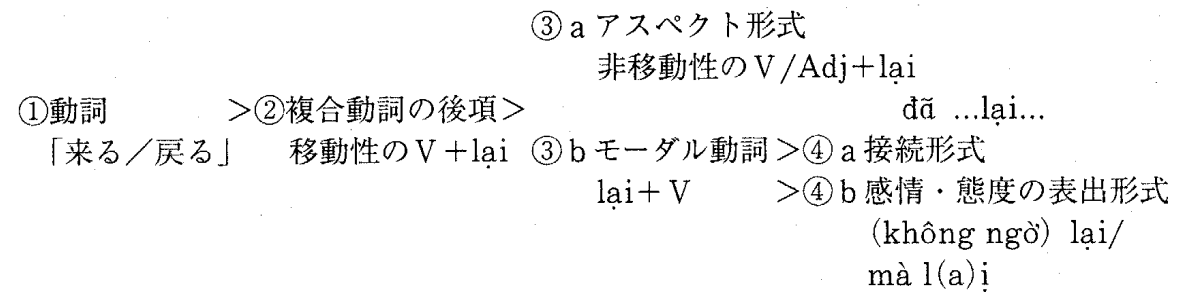
文末で，１つの単語として使われる mà lị の中の lị は，音韻的弱化を伴う感情表出的な表現の典型的な例だといえよう。

5. まとめと今後の展望

以上，様々な機能拡張の現象によって，lại の文法化のプロセスを考察した。述べたことをまとめると，次のようになる。

単独で使われる場合，「来る」を表すベトナム語の lại という動詞は，様々な統語的な環境によって，複合動詞の後項へ，そしてアスペクト形式，モーダル動詞の段階を経て，接続形式，感情・態度の表出形式へと機能拡張した。

lại動詞の文法化の過程は，以下のように示すことができる。



方向を示す移動動詞で，lại（来る）の他に，ra（出る）や đi（行く）にも，文法化の現象が認められる。[3] 例えば，“học（勉強する）đi.”（勉強しなさい）のように，ある動詞の後ろに使われると，一種の命令の意味を表すことがある。今後は，đi のような移動動詞の文法化の特徴も考察していきたい。

また，ベトナム語と同じく分析性が強く，連続の動詞構文（serial verb construction）が認められる他の東南アジア諸語にも，移動動詞の文法化があるようである。 例えば，大堀（2002: 201-202）に指摘されているように，タイ語にも，「着く」動詞が，前置詞や取立て詞「まで」へと機能拡張して文法化していく現象を観察することができる。こういう状況で，通言語的に見て，本稿で考察したベトナム語の「来る」の文法化の特徴は，方向を示す移動動詞として，どこまでが普遍的なものかも，出来る限り，明らかにしてみたい。

---

3 ra の文法化に関しては，レー・バン・クー（2000: 299-318）を参照されたい。

引用資料

(GH) : Khái Hưng & Nhất Linh, *Gánh hàng hoa.* 1962 (1934)

(花) : 片山須美子訳『花を担いで』穂高書店. 1995. (アジア文化叢書 11)

参考文献

Bybee, J., R. Perkins and W. Pagliuca. 1994. *The Evolution of Grammar: Tense, Aspect, and Modality in the Languages of the World.* The University of Chicago Press.

Cao Xuân Hạo. 1991. *Tiếng Việt-Sơ thảo ngữ pháp chức năng* (I) (ベトナム語—機能文法の概説 (I)). KHXH.

Cao Xuân Hạo. 2003 (3rd). *Tiếng Việt, Văn Việt, Người Việt* (越語, 越文, 越人). Nxb Trẻ.

Đặng Chấn Liêu & Lê Khả Kế eds. 1987. *Vietnamese-English Dictionary.* Hà Nội : KHXH

Hoàng Phê ed. 1995. *Từ điển tiếng Việt* (ベトナム語辞典). Nxb Đà Nẵng & TT Từ Điển Học

Lê Văn Lý. 1972. *Sơ thảo ngữ pháp Việt Nam* (ベトナム語文法概説). SG: TT Học Liệu Bộ QGGD.

Matsumoto Yo. 1998. Change in the Grammaticalization of Verbs into Postpositions in Japanese. In Ohori, Toshio. (ed.) *Studies in Japanese Grammaticalization — Cognitive and Discourse Perspectives —.* Tokyo : Kuroshio Publishers.

Nguyễn Anh Quế. 1988. *Hư từ trong tiếng Việt hiện đại* (現代ベトナム語の虚詞). HN : KHXH.

Nguyễn Đình Hoà. 1997. *Vietnamese.* Amsterdam / Philadelphia: John Benjamins.

Nguyễn Kim Thản. 1977. *Động từ trong tiếng Việt* (ベトナム語の動詞). HN : KHXH.

Nguyễn Phú Phong. 1976. *Le syntagme verbal en vietnamien.* The Hague : Mouton.

Panfilov, V. X. 1979. 'Các cấp thể và các chỉ tố tình thái thể trong tiếng Việt (ベトナム語におけるアスペクトのクラス及びモーダル・アスペクトの標識). *Ngôn Ngữ* (言語). No.2.

Palmer, F. R.. 2001. *Mood and Modalily* (Second edition). Cambridge University Press.

Sweetser, Eve. 1990. *From etymology to pragmatics : Metaphorical and cultural aspects of semantic structure.* Cambridge / New York : Cambridge

University Press. [澤田治美訳. 2001.『認知意味論の展開 — 語源学から語用論まで』研究者出版]

Trần Thị Nhàn. 2005. Ngữ pháp hoá các động từ trong tiếng Việt (ベトナム語における動詞の文法化). *Những vấn đề ngôn ngữ học-Kỷ yếu hội nghị khoa học 2003* (言語学の諸問題 — 2003年の学術シンポジウム論文集). Hà Nội: KHXH.

Traugott, Elizabeth C. 1989. On the Rise of Epistemic Meanings in English: An Example of Subjectification in Semantic Change. *Language.* 65-1: 31-55.

———. 1995. Subjectification in grammaticalization. In Dieter Stein and Susan Wright (ed) *Subjectivity and Subjectivisation*. Cambridge: Cambridge University Press.

Traugott, Elizabeth C. & Richard B. Dasher (2002: 84). *Regularity in Semantic Change.* Cambridge : Cambridge University Press.

Trương Văn Chình & Nguyễn Hiến Lê. 1963. *Khảo luận về ngữ pháp Việt Nam* (ベトナム文法論究). Huế : Đại học Huế.

Ủy Ban KHXH VN. 1983. *Ngữ pháp tiếng Việt* (ベトナム語の文法). Hà Nội : KHXH.

Văn Tân, Nguyễn Văn Đạm. 1977. *Từ điển tiếng Việt* (ベトナム語辞典) 2nd. Hà Nội : KHXH.

大堀壽夫. 2002.『認知言語学』. 東京大学出版会.

クリスティン・ラマール [Christine Lamarre]. 2004.「中国語における方向詞のカテゴリー化」,『言語』4 月号.

東南アジア諸言語研究会編. 2003.『東南アジア大陸部諸言語の「行く・来る」』慶應義塾大学言語文化研究所.

堀江　薫. 2004.「談話と認知」中村義芳久（編）『認知文法論Ⅱ』大修館書店.

松本　曜. 1995.「言語類型論（Ⅱ): 文法化」. 森岡ハインツ・加藤泰彦（編）『海外言語学情報第８号』大修館書店.

村上雄太郎（レー・バン・クー）& Christine Lamarre. 2005.「移動動詞の越・中対照研究：直示方向のカテゴリー化と「着く」の文法化を中心に」, 日本言語学会『第131回大会予稿集』, pp.60-65

レー・バン・クー [Lê Văn Cừ] (村上雄太郎). 2000.「「空間の移動」から「認識の移動」へ — ベトナム語の方向を示す移動動詞 “ra” の場合 —」. 青木三郎・竹沢幸一編『空間表現と文法』. くろしお出版.